



伊丹市マスコット たみまる

2024(令和6)年5月15日 第1518号 毎月1・15日発行

広報

伊丹



この号の主な内容

- 2面 国民健康保険税を改定
3面 令和6年度パブコメ実施予定
4面 伊丹市昆虫館 学芸スタッフの仕事
5面 健康 6・7面 みんなの窓

人口 195,339(-995) 世帯数 84,241(+485)
2024年5月1日推計 ()は前年5月1日比
発行・伊丹市広報・シティプロモーション課



〒664-8503兵庫県伊丹市千僧1-1 Tel.072-783-1234(代表) ファクス072-784-8107(広報・シティプロモーション課) ホームページ https://www.city.itami.lg.jp

もしもの備え本当にできていますか?

出水期に備えて確認しましょう

6~10月は集中豪雨や台風、梅雨前線の影響で、大雨・洪水・暴風による自然災害が発生しやすく川が増水しやすい時期です。本市でも平成26年9月には大雨の影響で床上浸水64棟、床下浸水94棟の被害が発生しました。いつ起こるか分からない災害に備えるために、日頃から家庭や地域でできることを確認し、最新の気象情報を入手するなど、早めの避難行動をとりましょう。問い合わせは、市危機管理室Tel.784-8166へ。



平成26年9月豪雨で浸水した阪急伊丹駅前

Q1. 食料や飲料水などは何日分備蓄しておけばいいの?

A. 最低でも3日分(可能なら7日分)

電気や火を使うことなく食べられるレトルト食品や缶詰など長期保存できるものなどを準備しておきましょう。

また成人1人当たりに必要な水分は調理用を含め、1日3ℓが目安です。



Q2. 洪水のときに伊丹市で想定される最大浸水深は?

A. 5~10m

川の水があふれた時は5~10mまで浸水すると想定される地域が一部あります。自宅や職場付近の危険箇所をハザードマップで確認しましょう(右二次元コードから読み取り可)。



Q3. 道路が浸水してきた。どうしたらいいの?

A. 建物の高層階へ移動

夜間で見通しが悪い場合や道路が冠水して、避難が困難な場合などは、無理に避難せず自宅2階や隣接する建物の高層階へ避難しましょう。

また長靴での避難は水が入って重くなるため逃げにくくなります。運動靴などで避難しましょう。

Q4. 災害時、情報をどうやって入手したらいいの?

A. 市ホームページ・エフエムいたみ(79.4MHz)・ケーブルテレビのデータ放送・市SNS(LINE・Facebook・X)など

市はさまざまな媒体で情報発信しています。緊急事態に備え、すぐ情報を入手できるようにしておきましょう。



「マイ避難カード」をつくろう



ハザードマップで確認しながら(下写真)、「いつ・どこに・どのように」避難するか決めておき、いざという時の避難行動に役立つ「マイ避難カード」を作成しましょう。市ホームページ(二次元コードから読み取り可)から用紙をダウンロードできます。



日頃の防災と災害時の情報収集に

LINE防災アプリ「伊丹防災」の友だち登録をして、防災情報を入手しましょう。



土のうの提供について

市は、集中豪雨や大雨による住宅などへの浸水対策として、土のうを準備しています。浸水などが気になる人や事前準備を考えている人に提供します。

提供する土のうは自身で持ち帰り、処分してください。問い合わせは市危機管理室へ。

Jアラート訓練放送

5月22日(水)午前11時ごろ

5月22日(水)午前11時頃「全国瞬時警報システム(Jアラート)」を通じて、市内28カ所にある屋外拡声器や緊急告知FMラジオなどで国民保護に関する訓練放送を行います。

また、同日午前10時45分頃、屋外拡声器で訓練放送の周知を行います。気象状況などによっては、訓練放送を中止する場合があります。

市危機管理室Tel.784-8166



出典：国立研究開発法人防災科学技術研究所

耐震診断の結果、安全性が低いと診断された場合には、耐震性を向上させるため、建築士が耐震設計を行い、補強の方法を決めます。

耐震設計

住まいを耐震化するためには、まず耐震診断を行い、地震に対して建物の安全度がどのくらい高いのか調べましょう。簡易耐震診断推進事業に申し込み、市から簡易耐震診断員を派遣し、診断を行います。

耐震診断

いつ大きな地震が起きても大丈夫なように、住まいの耐震性を知り、耐震補強をしておくことが大切です。

耐震化工事

耐震設計をもとに耐震化工事を行います。

市の住宅耐震化促進事業では、耐震化工事の費用に対する補助のほか、ニーズによってさまざまな補助メニューがあります。補助制度を活用し、地震に備えて安全な住まいにしましょう。

耐震診断や住宅耐震化の補助メニューなど詳しくは市ホームページ(二次元コードから読み取り可)で確認を。



◆市住宅耐震化の費用を助成市は、住宅の耐震化を促進するため耐震改修工事費用などの一部を次の通り補助します。【受付期間】5月20日～8月9日。【補助対象】昭和56年5月31日以前に建てられた住宅(その他条件あり)。

■围所定の申込用紙(市ホームページからダウンロード可)に必要書類を添えて、直接、市建築指導課(Tel.784・8065)へ。

命を守る住宅の耐震化

あなたの家は耐えられますか